

授業科目名	地域の健康と看護		担当教員	◎鶴岡 章子、川上 裕子	科目ナンバリング NM160
必修	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

地域看護は、地域で生活する人びとの健康やQOLの向上を目指す活動である。本科目では、人々の生活の場としての「地域」を理解するとともに、地域における看護活動の対象や対象の健康課題を探求し、保健医療福祉介護等の連携・協働、地域における関連機関のネットワーク構築等の社会情勢に応じた対応の必要性を理解する。

【達成目標】

1. 人々の生活の場としての「地域」を理解する。
2. 地域で生活する人々の健康課題の概要を学ぶ。
3. 一次・二次・三次予防に関わる地域看護活動の目的と方法を理解し、人々が自らの健康問題を改善する能力を高めるために、看護職が支援することの意義を理解する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|-------------------------------|------|
| [01] 授業オリエンテーション、地域とは、地域の健康とは | (鶴岡) |
| [02] 社会生活環境の変化と地域の健康課題 | (鶴岡) |
| [03] 地域看護の理念と機能、地域看護活動の歴史 | (川上) |
| [04] 地域看護の目的と対象、活動方法 | (鶴岡) |
| [05] 地域看護活動の場、地域における連携・協働 | (鶴岡) |
| [06] 地域看護活動の展開、地域看護活動の主なツール | (鶴岡) |
| [07] 生活構造・生活習慣と疾病予防 | (鶴岡) |
| [08] 地域看護活動と保健師の役割(グループワーク) | (鶴岡) |

【教科書】

荒賀直子・後閑容子他(2022)：公衆衛生看護学.jp(第5版データ更新版)，インターメディカル。

【参考書】

厚生労働統計協会：国民衛生の動向(最新版)，厚生労働統計協会。

【評価方法・評価基準】

定期試験：80%、課題レポート：20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：新聞、ニュース等に関心をもち、現代社会における保健医療福祉介護分野における課題を理解しておく。教科書の該当箇所を事前に学習しておく(2時間)。

事後学習：各回の授業内容を授業時に配布した資料や教科書等で復習しておく(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ．ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

本科目は、後に続く公衆衛生看護学関連科目の基礎となる科目である。